

するが うつ

場面②駿河の国・宇津の山
訳13どんどん進んで行つて、駿河の
国に着いた。

訳14宇津の山に着いて、①自分が入
ろうとする道はたいそう暗くて
細い上に、薦（つた）や楓（か
えで）が茂り、②なんとなく心
細く、③思いがけない目に遭
(あ)うことだ、と思つている
と、修行僧が(×と)出会つた。

問一 傍線部①と一致するのは?

ア道が暗くて細かつたのは、薦や楓
が茂つていたからだ。
イ道が暗くて細かつたのは、薦や楓
が茂つていたせいではない。

問二 傍線部②のように感じた理由 は?

ア道が暗くて細かつたから。
イ道が暗くて細かつた上に薦や楓が
茂つていたから。

訳13 どんどん進んで行つて、駿河の国に着いた。

訳14 宇津の山に着いて、①自分が入ろうとする道はたいそう暗くて細い上に、薦や楓が茂り、②なんとなく心細く、③思いがけない目に遭うことだ、と思つてみると、修行僧が（Xと）出会つた。

問三 傍線部③「思いがけない目」は次のどちらを指すか。

ア 暗く細い、薦や楓が茂る道に心細さを感じたこと。
イ 修行者と出会つたこと。

問四 Xに入る人物は？

ア 主人公の妻
イ 主人公の恋人
ウ 役人
エ 修行僧

オ 主人公たち一行
カ 主人公たちとは別の旅行者たち

このは空白ページです